

開催概要

開催概要

名称 第36回全国都市緑化信州フェア
 愛称 信州花フェスタ2019 ～北アルプスの贈りもの～
 開催テーマ 全国都市緑化信州フェア 開催テーマ
 北アルプスの麓から広がる 花と緑に包まれた しあわせ暮らし
 主催者 長野県、松本市、大町市、塩尻市、安曇野市
 公益財団法人 都市緑化機構
 実行組織 第36回全国都市緑化信州フェア実行委員会
 開催期間 2019年4月25日(木)～6月16日(日) 53日間
 会場
 メイン会場 長野県松本平広域公園
 サブ会場 ・ 国営アルプスあづみの公園
 (堀金・穂高地区、大町・松川地区)
 ・ 長野県烏川深谷緑地
 サテライト会場 主催4市で設定
 想定来場者数 50万人(メイン会場とサブ会場の合計)
 入場方式 集客可能な有料催事を検討し、入場料は以下のとおりとします。
 メイン会場:会場全体を囲った一律の入場料課金は行いません。
 サブ会場他:現行と同様とします。

基本理念

信州は緑の国
 山々の雪を源とする清らかな水に育まれるみどり
 厳しくも豊かな自然を敬い、寄り添うわたしたちのいとなみ
 みどりに包まれた心豊かな生活
 しあわせが五感を満たしている
 この恵みを全国、世界のみなさまとわかちあいたい
 わたしたちはみどりのすばらしさを再認識し、伝え、
 うるおいのあるまちづくりを未来につなげていくため
 北アルプスを望むこ信州松本平で
 第36回全国都市緑化信州フェアを開催します
 (第36回全国都市緑化信州フェア基本構想より)

開催方針

- ・ 緑とひとが調和する信州らしさを感じるフェア
- ・ ひとりひとりが主人公となり共につなげるフェア
- ・ 日本のまん中 信州から広がるフェア
 (第36回全国都市緑化信州フェア基本計画より)

展開方針



- 信州の暮らしの素晴らしさを感じられ、楽しめるフェアとします
- 信州の自然や風土を表現し、五感で感じる会場を設定します
- これからの暮らしにおける花緑の活用について提案し、体験できるフェアとします



- 様々な県民や団体が参加し、創り盛り上げ、発表する場を提供します
- 新たな緑化技術や出展を通じた学びの場を提供します
- 花緑に包まれたまちづくり、暮らしづくりの契機となる場にします



- 自然や暮らしなど信州の魅力を県内外に発信する場を提供します
- 緑化に関わる様々な団体や個人が出会う場を提供します

(第36回全国都市緑化信州フェア基本計画より)

ロゴマーク・応援キャラクター

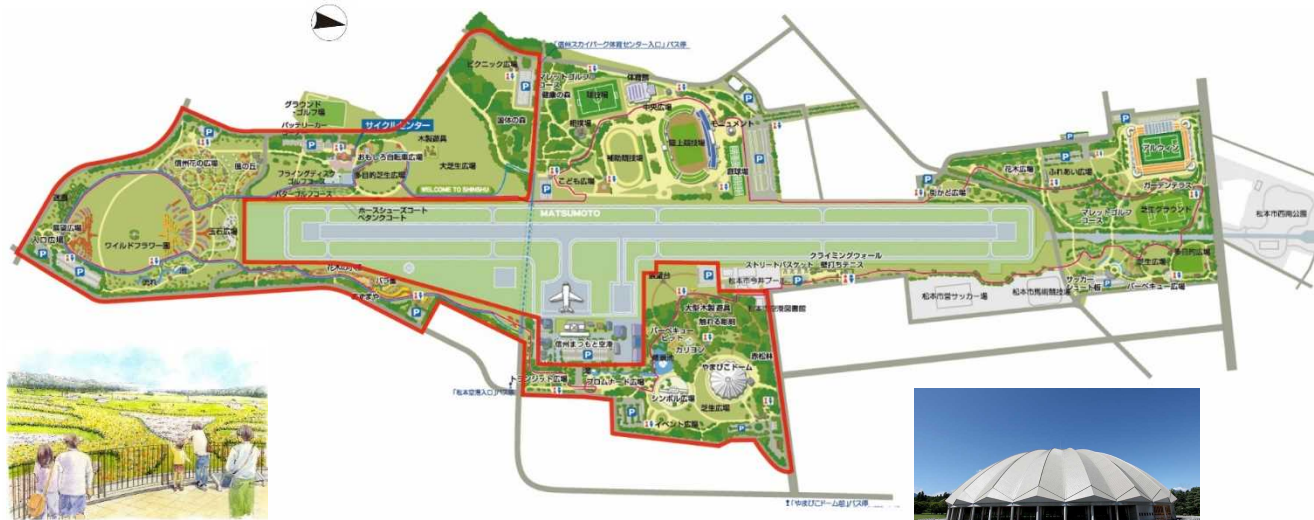


信州花フェスタフレンズ



メイン会場

長野県松本平広域公園



ワイルドフラワー園



やまびきドーム

凡例: 会場区域

図中の名称は既存施設の名称

サブ会場

国営アルプスあづみの公園



国営アルプスあづみの公園 (大町・松川地区)



国営アルプスあづみの公園 (堀金・穂高地区)



長野県烏川深谷緑地

春から初夏へとみどりの装いが大きくかわる信州の2つの風景を、木々の芽吹きとともに500品種50万株の花緑で満喫する会場

A 来場者をお出迎えするプロムナード

ケヤキの新緑とその足元を飾る色鮮やかな草花によりさわやかな「信州の春」を感じさせる修景で来場者を歓迎

出会の広場

L 信州を堪能するにぎやかマルシェ

信州の「食」のほか、会場内の花緑の物販やフェアの公式グッズ、物産品を販売。また、サブ会場、サテライト会場、花緑が楽しめる場所や県内観光地の情報を発信。(5ブース)

信州マルシェ

K 企業や学生による庭園展

造園家等のみどりの専門家が様々な空間を提案

全国から造園等に関連する企業や県内の学校等が「信州の庭」をテーマ※に庭園を出展。高い技術力や知識等を発信し、信州の花緑を取り入れた暮らしを提案。(30区画)

※和の庭、まちの庭、緑化技術の庭など

信州の庭

D 北アルプスと花の丘

県民や市民と協働で製作する15万株の大花壇

北アルプス花の丘

C 自治体による庭園展

県外出展自治体の特徴を花緑や扉のオブジェ等で表現し、日本の真ん中から地域の魅力を発信(20団体)

芸術と花の森

B はじまりの花庭

春の到来を祝う花緑の広場

早春の北アルプスをイメージした緑の壁面をシラカバやカラマツの苗木、出荷量全国一位を誇るカーネーション等で彩る。裏面は県歌制定五十周年を迎えた「信濃の国」の信州の風景を紹介

ハレの広場

E こどもから大人まで楽しめる緑の遊び場

地域で活動している団体等の発表の場として、会場内の図書館を活用して生け花や盆栽の他、アート作品等を展示。また、子供の遊びをテーマにした出展。(10区画)

あそびの森

信州ナチュラルライフガーデン

信州で育まれた「ヒト」「モノ」「コト」から「みどり」で心と体が豊かになる暮らしの提案

F 信州彩園

野菜や果物を使った庭やハーブづくりが楽しめる庭など新たな緑の楽しみ方を提案

G 信州キッチン

緑に囲まれた空間で地域風土に根ざした素材を使った料理を提供し、長寿県信州の食文化をアピール

H 信州暮らしの庭

次世代を担う県内の造園家のアイデアや匠の技で、信州の草花等を活かした庭園を展開し、暮らしの中へ豊かなみどりの取り込み方を提案

I 信州リビングガーデン

県産木材を使用した木造建築と庭を一体的に展示し、信州の暮らしの魅力を体感

J やまびこドーム

開・閉会式
全国都市緑化祭
花緑を使ったワークショップ等
各種催事・企画展

学 展示や体験を通して花や緑を学ぶ機会を提供



国営アルプスあづみの公園(堀金・穂高地区)

■ 25万本のチューリップとユリの開花リレー



堀金・穂高地区のチューリップ

堀金・穂高地区の春の風物詩となっているチューリップ花壇を拡大し、さらにユリと組み合わせた開花リレーを楽しめるよう演出



チューリップからユリへの開花リレー

■ 信州のアーティスト達によるフラワーアート展&ライブペインティング

国内外で活躍する長野県出身の芸術家による園内の木々の枝や、アルプスを想起させる草花等を使ったアート作品を展示。さらに展示会場内でライブペインティングを実施し、展示作品とのコラボレーションを実施



園内の植物などを使ったフラワーアート



現代美術家、フラワーアーティスト 柿崎 順一氏



実施イメージ

■ 著名人と歩く北アルプス山麓ファミリーハイキング

〔烏川渓谷緑地連携事業〕

山と関わりの深い、著名人と一緒に楽しむハイキング。国営公園から烏川渓谷を散策し、身近な草花・自然に親しみながら、春の散策を開催

国営アルプスあづみの公園(大町・松川地区)

■ 公園では国内最大規模、チベタヌスを主役に据えたシェードガーデン



大町・松川地区の眺望



チベタヌス



ホスタ(ギボウシ)

北アルプスを望む林床に、アジア原産のクリスマスローズ「チベタヌス」とホスタ(ギボウシ)を中心としたシェードガーデン*を展示。
※日陰や半日陰の庭。日陰棟でも育つ植物には管理がしやすいものが多い。

■ 「趣味の園芸」フェア(トークショー&園芸講習会)



趣味の園芸トークショーの様子

「はちおうじフェア」イメージ

国営公園のフィールドで、全国にファンを持つ「趣味の園芸」の講師によるトークショーやガーデンの制作・園芸講習会などを開催。

■ 動き出す花のお絵かき



実施イメージ

紙に描いた植物の絵を映像化し、命が吹き込まれたように動き出す映像アプリを使ったお絵かき体験を実施

■ 信州の植物画家が描く花の肖像展

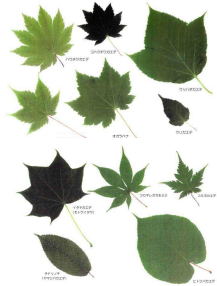


国立科学博物館主催のコンテストでゴールドメダルを受賞した信州のボタニカルアート*作家の作品を展示。

※植物的な絵画。植物のみの姿を正確に繊細に描いたもの

烏川渓谷緑地

■ 19種類を一度に楽しめる国内でも稀なメイプルコンテナガーデン



烏川渓谷緑地は国内に約30種あるといわれるカエデのうち19種を見ることができる稀有な公園。様々な姿・形をみせるカエデを組み合わせた小さな庭が、来場者を出迎え。

■ 植物写真ワークショップ「目からうろこの植物写真術」

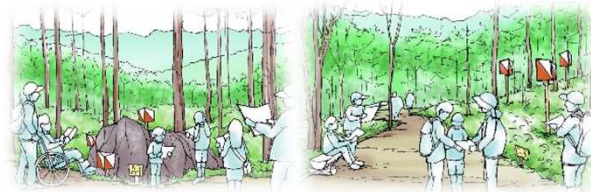
烏川渓谷緑地で開催している人気講座、写真家いがりまさし氏による植物写真ワークショップをフェアの特別企画として実施。



実施イメージ

■ 緑の中で発見を楽しむトレイルオリエンテーリング日本選手権を県内初招致

〔国営アルプスあづみの公園(堀金穂高地区)連携事業〕



実施イメージ

子どもから大人まで、障がいの有無に関係なく自然の中で地図読みを競い楽しめるトレイルオリエンテーリング※大会を開催。

※トレイルオリエンテーリングとは

オリエンテーリングは設置されたチェックポイントを順番にできるだけ早く回る競技、トレイルオリエンテーリングは、安全に通れる小道をたどりチェックポイントを回り、各ポイントに複数置かれたフラッグ(旗)の中から地図などの説明資料を頼りに正解のフラッグを一つ選びながら制限時間内にゴールする競技。速さではなく正確さが求められる。

安曇野の案内人がいざなう 春の里地里山ガイドウォーク

〔国営アルプスあづみの公園(堀金穂高地区)連携事業〕

地元で活動する案内人による地域の特色や自然・文化についてガイドを受けながら歩く企画を開催



実施イメージ

地域主体の実行組織を立ち上げ、花緑を繋ぎ役に地域で交流を生み出し、活気ある地域づくりやまちづくりに繋がります。

松本市

次代を担う子ども、若者が参加する市民手作りによる企画



2017年に開催された全日本花いっぱい松本大会の理念を継承した市民企画を展開

【開催場所】

- ・JR松本駅から中央西公園(花時計公園)エリア
- ・都市公園スポット(あがたの森公園など)
- ・中央公民館(Mウイング)

大町市

まちの魅力やおもてなし力の向上による信濃大町ファンの増加



信濃大町駅前から中心市街地の回遊や美と癒しの庭園と連携した企画を展開

【開催場所】

- ・大町駅前及び中心市街地周辺エリア
- ・ラ・カスタ ナチュラルヒーリングガーデン
- ・大町温泉郷

塩尻市

木育体験イベントやまちなか緑化の推進により、安らぎ空間を提供



地域住民参加による県産材を使用したベンチづくりのほか、地元高校生による緑化創出事業などを実施

【開催場所】

- ・小坂田公園
- ・公共施設スポット(JR塩尻駅・広丘駅など)

安曇野市

歴史・文化・風土、暮らしを背景とする安曇野らしさの発見と発信



市民参加によるインフィオラータの制作、ガーデンデザイナー吉谷桂子氏監修によるガーデンを制作。

【開催場所】

- ・安曇野市役所本庁舎周辺エリア
- ・三郷文化公園
- ・安曇野スポット(拾ヶ堰など)

観客誘致・広報宣伝計画

【展開方針】

花緑に包まれた信州の魅力を伝え、集い、多くの信州ファンを獲得する

観客誘致

- ・ 県内や全国からの誘客
- ・ 花緑に関心がある方やこれからの緑化を担う子どもたちや花緑に関心がない層の誘客

広報宣伝

- ・ 主催自治体をはじめ県内市町村、企業、団体等と協力連携した広報活動を展開
- ・ マスメディアを活用した積極的な情報発信を展開

行催事

- ・ 花緑や花緑に留まらず、さまざまな観点からみどりの大切さを伝える催事を展開
- ・ 来場者が花や緑に触れ合える体験催事を展開

営業参加

- ・ 信州らしさを活かし、信州の魅力を伝える展開
- ・ 来場者のニーズに対応し、フェアの魅力を高める
- ・ 開催状況を考慮した出店形態を計画

【実施案】

- 広報宣伝及び行催事等と連携した誘客

- 信州の雄大な自然と会場の花緑を併せた魅力の発信

- 主催者による広報プログラム
 - ・ キャンペーン活動
 - ・ 主催4市広報誌等

- 有料媒体による広報プログラム
 - ・ テレビ放送
 - ・ ラジオ放送
 - ・ WEB、SNS等活用

- 公式行事
- 主催者催事
 - ・ 松本山雅FC マッチデー
 - ・ いわさきちひろ 企画展等
 - ・ 花や緑の体験催事
- メディアタイアップ催事
 - ・ 民放TV4局とのタイアップイベント
- 一般タイアップ催事
 - ・ 公募催事等
 - ・ ナイトイベント検討

- 飲食関係
 - ・ 信州キッチン
 - ・ フードコート
 - ・ キッチンカー
- 物販関係
 - ・ 公式グッズ
 - ・ 物産品
 - ・ 花や木の苗
 - ・ 園芸用品 等



ノベルティグッズ



営業参加イメージ

協働推進計画

【展開方針】花緑をきっかけに集い、交流・体験し、持続できる協働の仕組みを創る

ひと

協働大花壇の製作



地域の小学生や企業団体が植付に参加して大花壇を制作

※植付け時期3回
総参加人数 約2,000人

ひと

信州グリーンフィンガーズ



フェア後に地域の都市緑化をリードする人材「信州グリーンフィンガーズ」を育成する講座(全9回)を開講

しかけ

信州グリーンシェアスポット



県内に点在する地域の緑化拠点を「信州グリーンシェアスポット」として登録し、情報発信。

つながり

信州緑花ネットワーク
花や緑に係る個人・団体などによる、市民主導型の協働ネットワーク組織「信州緑花ネットワーク」を立ち上げ、今後の展開を図る



会場運営・交通輸送計画

【展開方針】花緑と地域の魅力を連携させ、誰もが楽しめる会場を運営する

会場運営

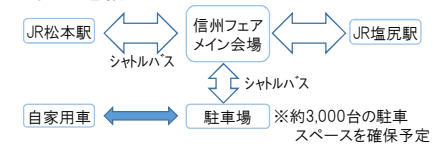
- ・ 情報センターを設置し、開催状況やイベント情報などを一元管理し提供
- ・ 来場者の満足度を高めるため、会場マップやエリア情報、会場内にある花緑の情報も統合したスマートフォンアプリの検討
- ・ ボランティアの参加条件を幅広く設定し、より多くのボランティア参加の機会を創出
- ・ 来場者の安全確保を図るため警備本部を設置。



「あいちフェア」イメージ

交通輸送

- ・ シャトルバスを運行し、フェア会場への輸送体制を構築
- ・ ボランティアの参加条件を幅広く設定し、より多くのボランティア参加の機会を創出
- ・ 来場者の安全確保を図るため警備本部を設置。



「よこはまフェア」イメージ

